



BULLET PRESENTS

バレット

淫魔
娼姫

子

第1話





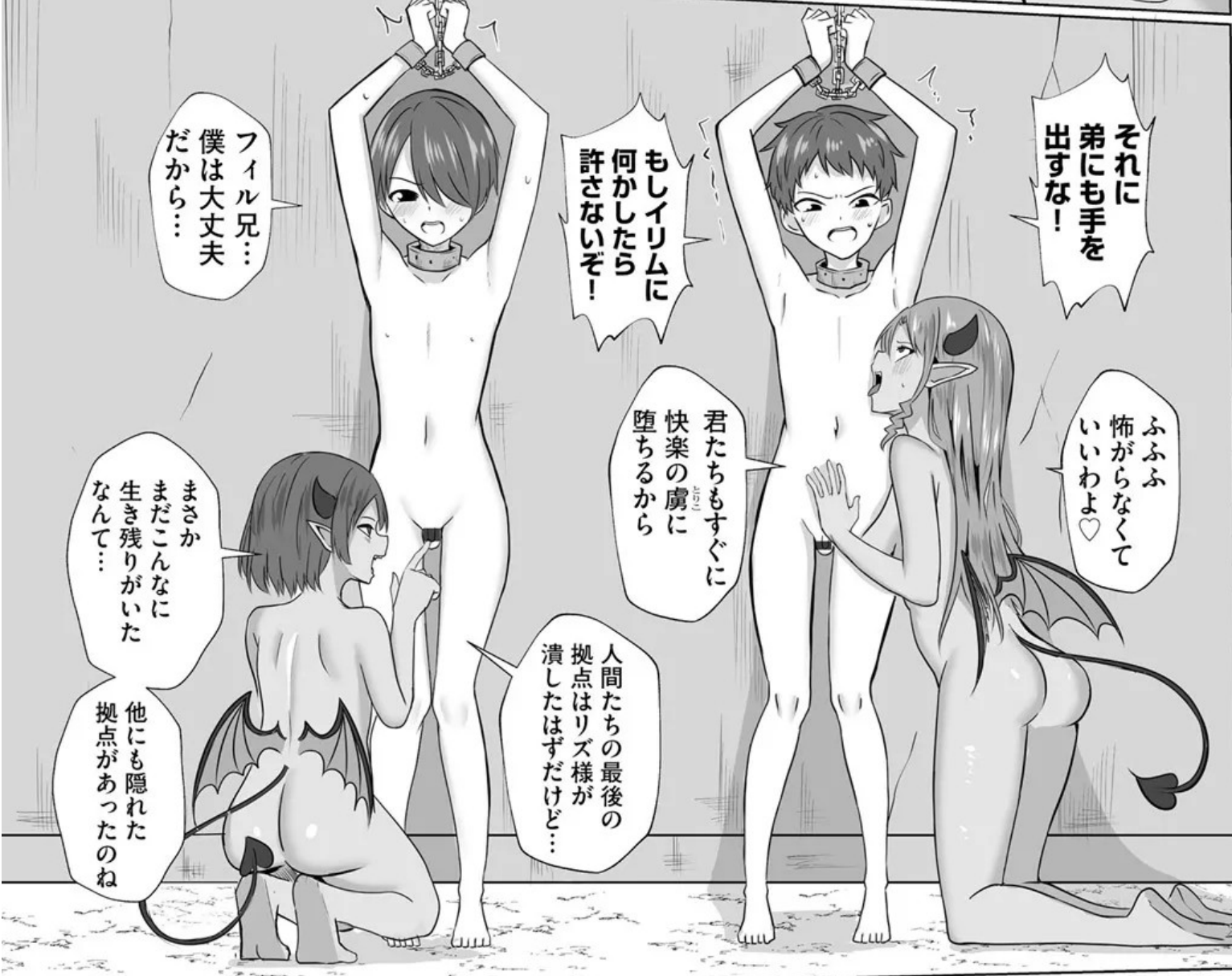
くそ！
この悪魔め！
離れる！

よく魔王城に
攻めてきたわね

勇者もこちら側に
堕ちて勝ち目
なんてないのに…

うっ！

へえ！
あなたたちふたり
兄弟なの？



フィル兄…
僕は大丈夫
だから…

もしイリムに
何かしたら
許さないぞ！

それに
弟にも手を
出すな！

ふふふ
怖がらなくて
いいわよ♡

君たちもすぐに
快樂の虜に
堕ちるから

まさか
まだこんなに
生き残りがいた
なんて…

人間たちの最後の
拠点はリズ様が
潰したはずだけど…

他にも隠れた
拠点があったのね



魔王を倒すべく
最後の戦いに
挑んだのだった

可能な限りの
戦力を投入し

勇者を失った人類は
ある人物を筆頭に
世界各地の
生き残りを集め

勇者リズが魔王の
力により淫魔化して
数カ月後



フィルとイリムも
人類の勝利のため
この戦いに参加したが…

激戦の最中
仲間たちと逸れて
しまい

その後
大量の悪魔たちに
襲われふたりは
拘束されてしまう…



そして
装備をすべて
剥がされ
地下にあるこの
牢獄へと幽閉されて
しまったのだった

放せ！
このっ！

ダメよ
せつかく捕らえた
獲物を逃がすわけ
ないでしょ



私たちに1発でも
射精させられたら
ビクッ

快楽を覚えて
おしまいよ♡

うっ!!



一瞬でイかせて
あげるから
覚悟しなさい♡



ここは人間の
オスを種豚に
改造する施設…
いまから君たちを
たっぷり調教して…

くそっ…!

新鮮な精子を生み出す
だけの家畜に改造
してあげるわ♡

1時間後…

はあ
はあ…

もーなんなの
この子たち！

なんで
勃起も射精も
しないのよ！

ま…まって
レイチェ！

彼らの下腹部に
何か印が
浮き出てきたわ！

あれは
いったい…!?

これは
聖女アラン様の
加護だよ！

僕たちの仲間全員に
この聖女様の加護が
付いているんだ！

な…！
全員に加護!?

そんなことが
できる人間が
まだいたなんて！

ふふふ
油断したな
悪魔め！

カア



これがあるかぎり
おまえたち淫魔の力は
効かないぞ！

アラン様は
前勇者カール様と
ともに

魔王と戦った
大英雄のひとりだ

そして今日まで
ずっと身を潜め
力を蓄えてたんだ

必ず魔王を倒す
ためにな！

聖女アラン…
なんて厄介な力くっ！

私たちのレベルじゃ
どうにもならない！

いったい
どうすれば…

ちょっと
そのふたり
何してるの？

カツ

あなたたち
確か新人の
サキユバスよね

調教に苦戦して
いるようだけど
どうしたの？

も申し訳
ございません！

こいつら
聖女の加護とやらで
射精をしなくて…

え…！

サキユバス最高位
淫魔娼姫ラナ
元人間

ラナ様！

ラナ…！

ラナだって!?

まさかこの
サキユバスは…

ふうん

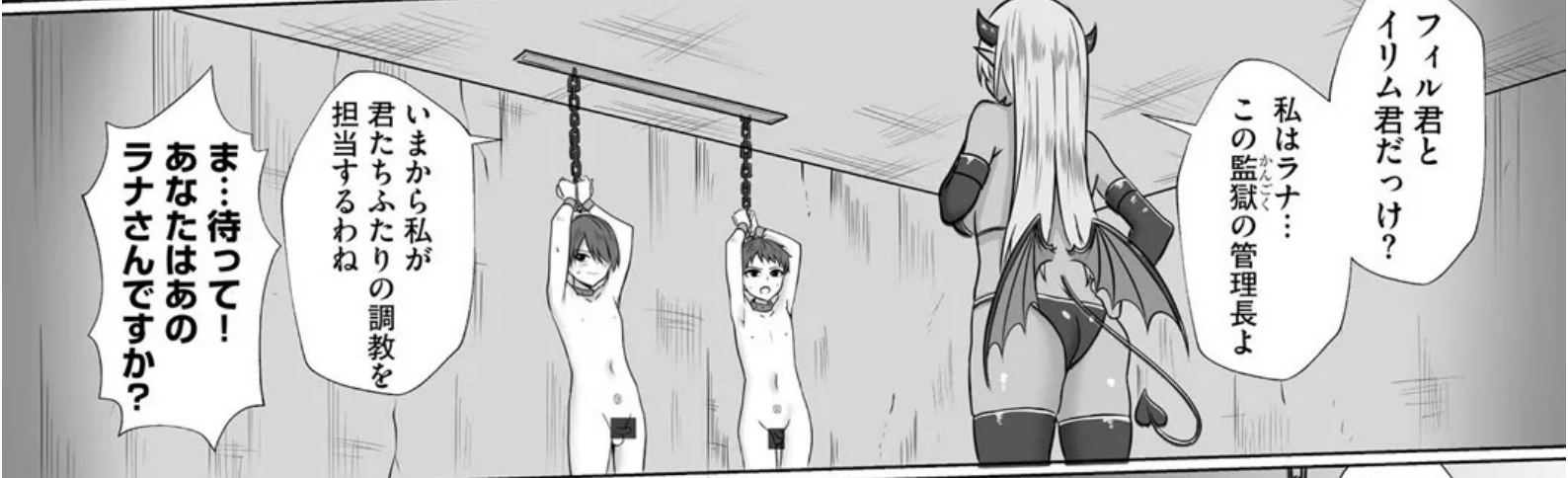
なるほど…
この魔力

確かに
普通の淫魔じゃ
無理そうね

ところで…
あなたたち
名前は？

シ…
シノンです

レイチエと
います…



でもそれは過去の話

いまの私は魔王様の忠実な部下

淫魔娼姫ラナよ

な...! やっぱり本物...!

うそだ... 僕たちの憧れの人が...!



英雄と言われたあなたが...

ふふふ そんなの簡単よ

私はあの日 教えてもらったの

あの騎士団 最強と言われた副団長様が...

くっそ... なんで...!

こんな醜い淫魔に...!?



悪魔になることの快感を...! 悪魔でいることの幸福をね!



いまから約3年前 ラナは前勇者カールと魔術師エボンとともに

魔王軍の残党を片づける旅に出ていた

しかし旅の途中で仲間だった魔法使いエボンの裏切りにあっってしまう



流石ラナさん! 王国騎士団の副団長力は凄まじいですね

ありがとう そう言ってくると

黒髪青年が勇者の血を引くカールと...

はい... 大丈夫です!

彼は私を実験で作り出した特殊な悪魔です

その後悪魔の拠点に連れてこられたラナは

グフフ いい女だ

魔王の因子を受け継ぐ悪魔に犯されてしまい

抵抗虚しく魔王の精子を注がれ淫魔へと堕ちてしまったのであった

魔王様に忠誠を誓った淫乱サキュバスです

ダメだ！ラナさん！それだけは！



さて：雑談はここまでにして：

さつさと調教を始めましょうか

まずは…

弟君のおちんぼから

えっ！



やめろ！イリムに近づくな！

うふ♡かわいらしいおちんぼね

うう…っ！

とってもおいしそう

だ大丈夫だよファイル兄ちゃん

僕らには聖女様の加護がある！



あゝ♡

これがある限り僕たちは負け…

女だ！





な...
なんじ...!!

ウソッ!!

おおっ♡

め!!
くちゅ
くちゅ



効いてない!!

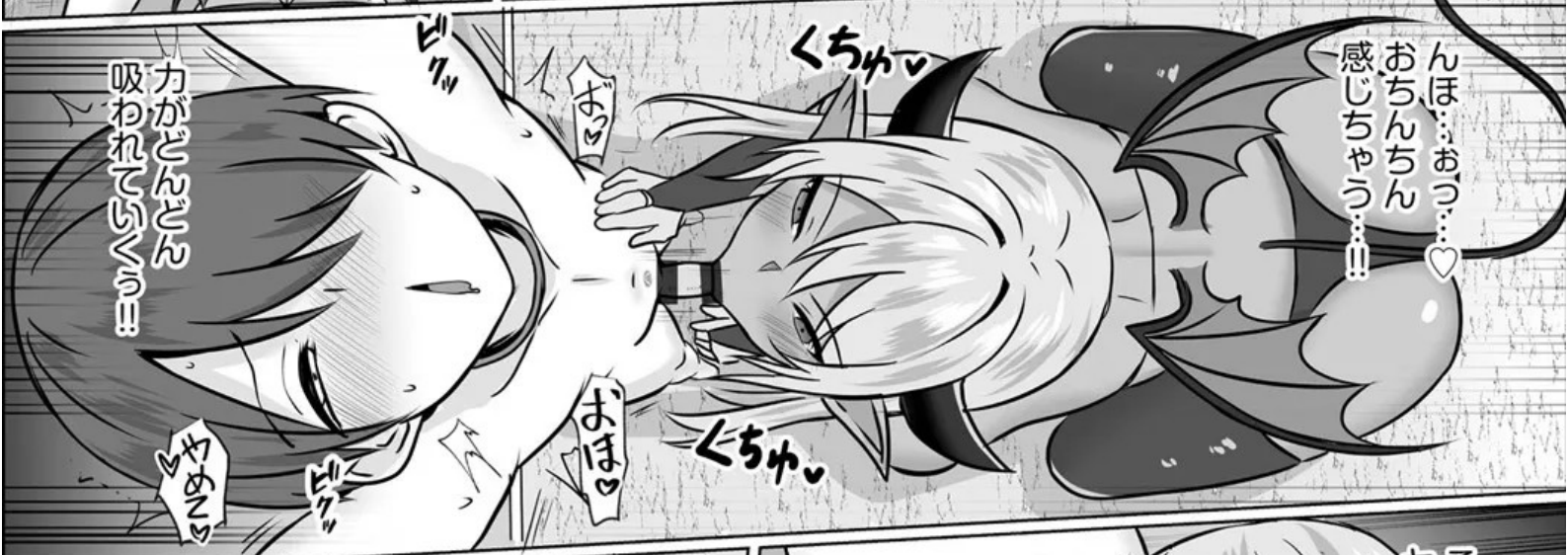
なんで!!
加護の力が...

めよ♡
くちゅ♡
くちゅ♡



くちゅ♡
くちゅ♡

め♡
め♡



力がどんどん
吸われていく!!

んほ...おっ♡
おちんちん
感じちゃう!!

くちゅ♡

くちゅ♡

め♡

め♡



吸いつきが
強力すぎて...!!

おちんちん
どんどん
大きくなる!!

あひっ!



この人...
ヤバすぎる...!!

さっきの
ふたりとは
レベルが違う!!

くちゅ♡
くちゅ♡



まあ：私にはまったく効果ないけどね♡



この聖女の力確かに強力ね…

下級の淫魔じゃ解除は難しいだろうけど…

おかしくなっちゃ…!!

お願い…!! やめっ…



頭の真つ白くなる…

だめ…だ…吸われる…

気持ちよすぎて何も考えられなくなる…!!



あぁ…搾りたい…!!

こんな気持ちいりものだったんだ…♡

ラ大様に僕の精子を飲んでもらいたい!!



永遠に淫魔様に
射精管理されたい♡

ラ…ラナ様!!
イク…出る!!

精子
出ちやいそう!!

はっや…
もう加護の力
切れたんだ



もうちよつと
粘るかなと
思ったけど…

やっぱり
ザコね!

せう
我慢できない!!

ちよつと♡

びゅっびゅっ
したい…!!



あああつ!!
あああつ!!
あああつ!!

もう無理!!
出ちやう♡

出しちゃダメだ!
耐えるんだ!
イリム!

おおお
おおお

ちよつと♡



お楽しみは
これから
なんだから♡

私の許可なく
射精しちゃ
ダメよ



ふー
危ない危ない

もう少しで
イクところ
だったわね♡

ひゃっ!



ほら
イリム君



ふふふ
彼はもう
手遅れよ



返事をしろ!
おい!

くっ?!?
イリム!
大丈夫か!

おお♡



特別に
私のおまんこ
貸してあげるから

早くその
勃起ちんぽを
ぶち込みなさい!

おねえ...

なにポケツと
してんのよ!



これが
ラナ様の性器…

おめえ…♡

なんて卑猥で
淫乱なおまんこ
なんだ…



それとも
私のおまんこ
欲しくないの？

あう…

ああ…
すごい…



僕…
決めた♡



ごめん
兄ちゃん…

やめろ！

おい！
イリム！



僕は
これから…

おめえ

ラナ様のために…



種豚として
生きていく…!!

ズンッ

あぁ♡

あん♡
ちんぽきたあ!!



彼を9番農場に連れて行きなさい

はい!!

レイチエ!
シノン!

わかりました!!



うふ♡
服従の淫紋が
浮かんできたわね

おっ…♡

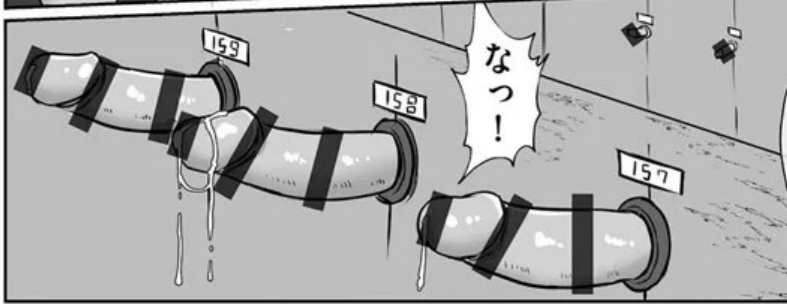
これでイリム君も
立派な種豚よ♡

んお…♡



弟をどこに連れていくつもりだ!

ちよ…
おい! 待て!



なっ!

種豚化した人間たちを効率よく管理する農場…
イリム君は今日からそこで暮らすの

ここよりもっと地下にある場所よ…



なに舐めた口
きいてんの?

わかってい
思うけど次は
アンタの番よ!

この…!



最近9番農場の搾精率が悪くて困ってたのよね…

だから新しい種豚が入ってくれて助かるわ

くっ…!
ふざけるな!

弟を返せ!

これから毎日搾りにいくわ

いっぱい精子作ってね

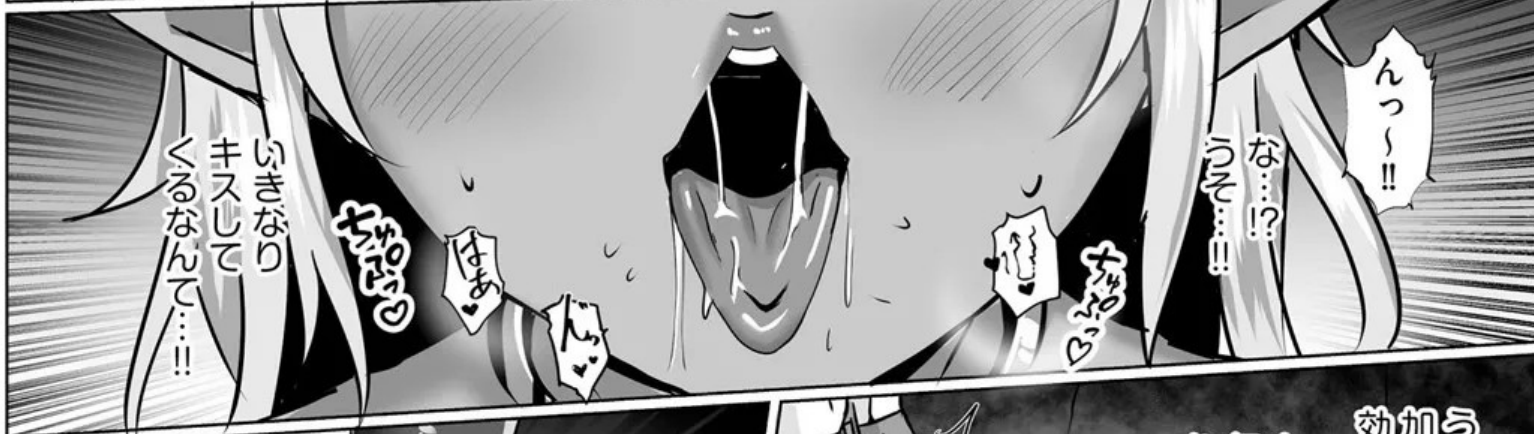
はい…



あ甘くみるなよ！
俺は弟のようには
いけない！

どんな拷問
だろうと耐えて
みせる！

おまえたちだって
いい気になって
いるのもいまの…
うっ！！



んっ！！

な…!?
うっ！！

いきなり
キスして
くるなんて…!!



うっ…!!
加護の力が
効いてない…!?

キスだけで
気持ちよく
なっちゃうなんて…

んっ！！

キス



あ…っ！！
これやば…

ムズイ…!!
アソコが無意識に
どんどん大き…

ム7
ム7



…つてもう
聞こえてないか

見た感じ完全に
こちら側に堕ち
ちやつたみたい
だし…♡

おほっ…!!
おっ…♡

んほっ♡

じゃあ最後に…
もつとイイこと
しちやおつか♡

ハッ



ほら♡
ファイル君の大好きな
おまんこよお

特別に枷を外して
あげたから一緒に
楽しみましょう

キミの精子も
私が一滴残らず
搾り取って
あげるわ♡

こ…これが
悪魔の…



ラナ様の
まんこ…

ああ…早く
入れないと…

はっ



あんっ♡

勃起ちんぽ
入ってきたあ♡

セックスさえ
あればいい!!



ああ…
もじりや

はい…♡

さあ
早く中に
入れなさい



人類の勝利も…

人間としての
誇りももう
いらぬい…

おほっ
おほっ



俺たち人間は…!!!

淫魔様に
管理されるために
産まれてきたんだ♡



ああ…
知らなかった…

悪魔とエツチするのが
こんなじ幸せなんて!!



ああああ!!
止まらない!!

腰振るのが
止まらじやSSS♡

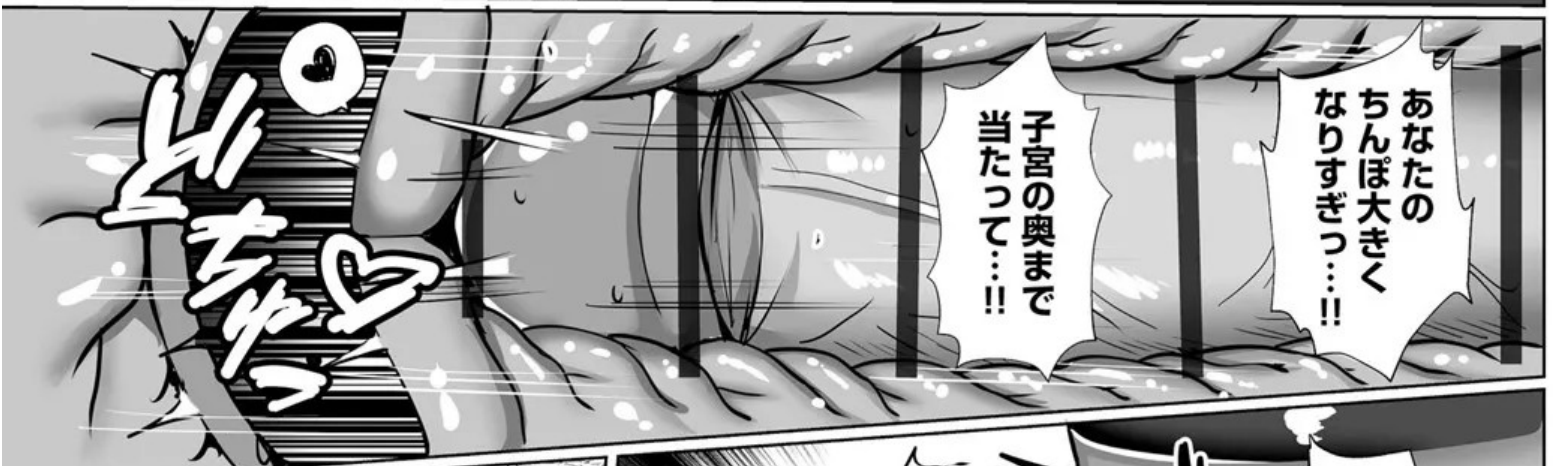


もうおまんこ
なしでは生きて
いけないよオ!

あんっ...♡
そこは...!!!

フィル君...
待って!!

やば...♡
ストップ!!
ストップ!!



あなたの
ちんぽ大きく
なりすぎっ...!!!

子宮の奥まで
当たって...!!



おおっ!!
おほ...♡

やば...
いつちやった♡



私をイカせる
なんて...

なかなか
やるじゃない♡



あひゃっ!!!

ドッ

これは育てがいの
あるちんぽね♡

う…ッ
だめ…!!

ラナ様…俺
出ちやいそう!!

あら？
もう限界なの？

せつかく気分が
乗ってきたのに
自分勝手ね！

ご…
ごめんなさい

ふふふ
いいわよ！

いつでも
出しなさい！

私のおまんこで
精子を受け止めて
あげるわ♡

でも射精しちゃったら
ファイル君も弟君同様…

私たちの種豚に
なっちゃうけど
いいかしら？

はい!!
なります!!

俺も
ラナ様たちの種豚に
なります…!!

だから
射精させて
ください!!



じゃあ最後の仕上げに…

この淫紋を刻んであげる

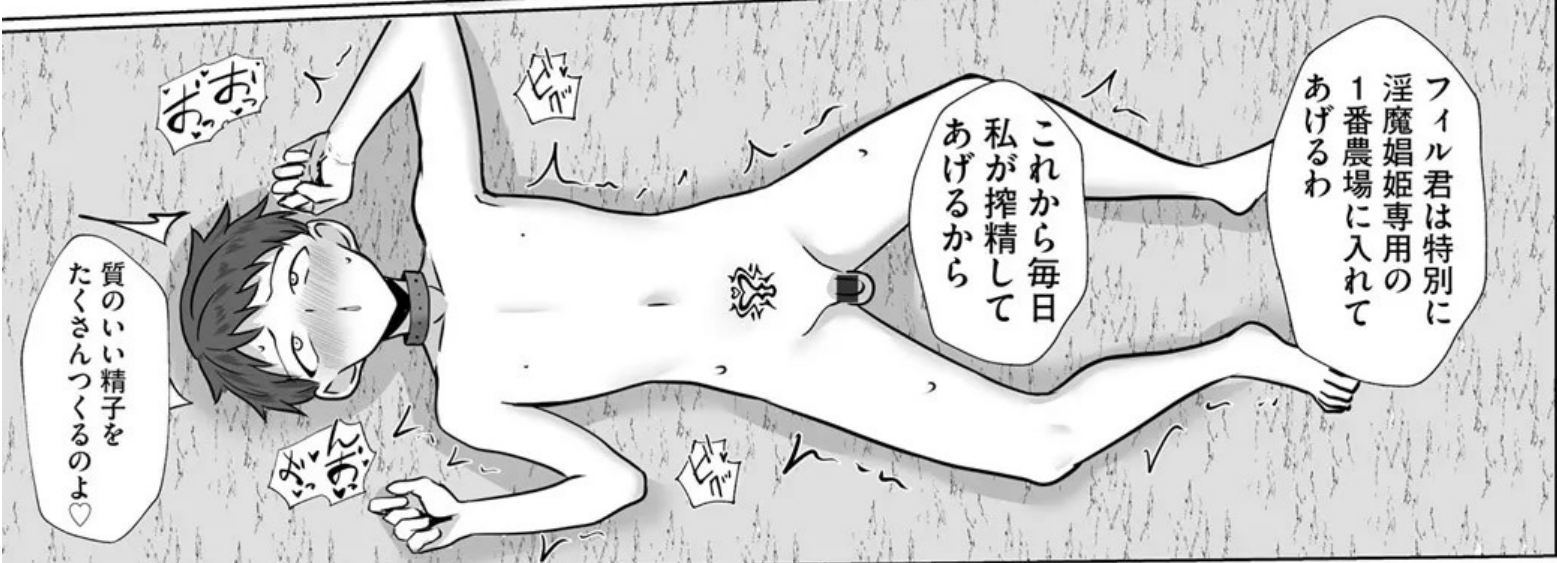


おまじい♡



あゝあ本当に出しちゃった

これでフィル君も正式に私たちの種豚ね♡



フィル君は特別に淫魔娼姫専用の1番農場に入れてあげるわ

これから毎日私が搾精してあげるから

質のいい精子をたくさんつくるのよ♡



あら？エボン様

ここにいたのですねラナさん



ふう… やつと見つけましたよ



あと射精量が落ちてきたら処分されちゃうから…

そうならないよう頑張りなさい♡



to be
continued

...